

『仏説阿弥陀経』に聞く “生き方の極意”



—お釈迦さまは私たちに何を伝えようとされたか?—

『仏説阿弥陀経』は、浄土宗、浄土真宗をはじめ浄土教の多くの宗派にとっては大切な聖典であり、もっとも親しまれているお経の一つと言えるでしょう。しかし、その内容を把握して、お勤めしている人は数少ないのではないのでしょうか？お釈迦さまが精魂込めて説いてくださったその中身を知らずに、一生を過ごしてしまうのは勿体ないことです。そこで、『阿弥陀経』には何が説かれているのか？、それはどういう意味なのか？——を念頭に入れながら、4回にわたって解説していきます。要はお釈迦さまが伝えようとされた「すべての人が救われていく道」、すなわち“生き方の極意”が語られています。

【第1回】量りなきいのちの営み

11月2日(日)午後2時～

【第2回】極楽という幸ある世界

12月7日(日)午後2時～

【第3回】阿弥陀仏の本願と念仏

令和8年1月4日(日)午後2時～

【第4回】諸仏に守られて生きる

令和8年2月1日(日)午後2時～

【講師】末本 弘然(当寺先代住職)

1951年大阪府池田市に生まれる。大阪大学文学部史学科卒。本願寺新報記者を経て、1983年大阪府池田市の浄土真宗本願寺派正福寺住職に就任。平成26年からは池田市仏教会会長を務め、地域社会にお寺の存在感を示そうと種々、試み始める。現在は前会長。月刊誌『御堂さん』編集委員。仏教の心で地域コミュニティの充実をはかろうと「ナムのひろば文化会館」を創設。著書に、『インドフォトエッセイ 仏さまに出会う旅』(東方出版)、をはじめ、『仏事のイロハ』『新・仏事のイロハ』『子どもの眼、仏の眼』(本願寺出版社)、『クイズ浄土真宗』(探究社)、『亡き人の偲び方』『うちのお寺の門徒さん』(百華苑)、『仏さまの世界へ誘う今昔ものがたり抄』(本願寺出版社)、『浄土オラクルカード』(ヴィジヨナリー・カンパニー)など。



協力金：4回一括で5,000円

会場：ナムのひろば文化会館・サンガホール

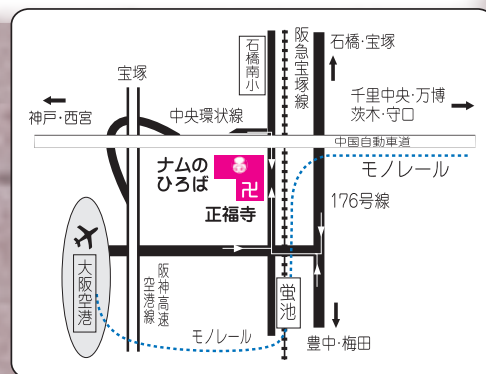
【主催】正福寺・ナムのひろば文化会館

〒563-0032 大阪府池田市石橋 4-15-14 (地図参照)

【連絡先】ナムのひろば文化会館(正福寺内)

《TEL》072-761-5552 《FAX》072-737-5440

《Mail》info@namosquare.org 《HP》http://namosquare.org



阪急宝塚駅より徒歩約8分

お申し込みは下欄に記入の上、連絡先のナムのひろば文化会館まで直接お持ちくださるか、FAXで送信ください。上記メール・ホームページでも受け付けておりますので、同内容をお書きの上ご連絡ください。

(ふりがな)

お名前

ご住所 〒

電話番号

FAX(あれば)